

一級建築士事務所 中村建築 株式会社
中村 堅志

【作品名】
あたらしい家

設 計	一級建築士事務所 中村建築 株式会社
施 工	有限会社 秀建
竣 工 日	2022年7月31日

建物概要

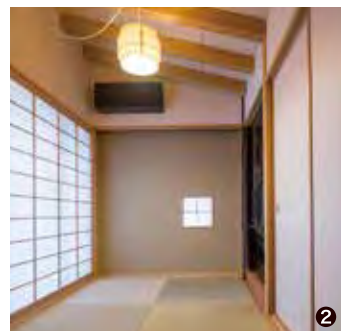
建 設 地	鳥取県鳥取市	延 床 面 積	106.30㎡
敷 地 面 積	127.74㎡	構 造・規 模	木造2階建

設備面の特記

厨 房 機 器	IHクッキングヒーター
給 湯 機 器	エコキュート
冷暖房機器	エアコン



写真撮影／平井 広行



①県産材のスギ縁を利用した杉が香る玄関。通りに面してはプライバシーを配慮して開口部を抑えている。
②接客空間などパブリックな用途として欠かせない和室は、中庭に面して配した。曇りの多いこの地域で日光の恩恵をもたらす。



③構造材・内部造化粧材は鳥取県産のスギ材を使用し、地産地消・脱炭素化に努めた。開口部は全てLowEガラスとし、1階広間の南面開口部は断熱サッシとすることで冬季の日射を有効に取り込む。
④ロフトのある2階寝室。自然通風を可能とするため全ての居室に2面開口を用意。南北を軸に並ぶ2階にはロフトに換気窓を設け、南風を通し重力換気による通風を実現。寝室の横のインナーバルコニーは、降雨の多いこの地域では風の抜ける物干し場となる。

設計コンセプト

敷地は鳥取市の中山間部の集落内にある。広い敷地内に、母屋と改修したハナレのほか車庫や蔵などが増築を繰り返して一体化し、密集した建物群に2世帯7人で住んでいた。そこで、両親はハナレへ移り、母屋を取り壊し子世帯家族5人のための住宅を計画することになった。
まず敷地の中心に「中庭」を据え、ここを2世帯がつながるためのスペースとし、この中庭に面して親世帯の住居となるハナレの玄関と渡り廊下、接客空間などパブリックに使用する和室を配した。また2階部分は片流れ屋根により作られたロフトを持つ家族5人のための独立した寝室群とした。
一体化していた建物群を切り離し、風と光を取り込むため作り出した「隙間」を中庭や駐輪場・通路などにあて、雨と雪から逃れる軒下

空間がそれら隙間に寄り添うような構成としている。
とかく地方においては、「法規制のゆるさ」と「立派である事＝大きい事」からくる過度なボリュームによる無秩序な建て替えや、慣習的な家構えによる閉塞感、雨雪から身を守るように閉ざしたそれまでの暮らしの無意識な踏襲を目の当たりにしてきた。
今回の建て替え計画では、周囲の街並みを逸脱しないようなボリューム検討と無駄を省いた最小限の空間提案を重ね、通りに面しては開口部のない板壁と軒下空間によりプライバシーを確保。建物配置を通りから90度ふり南面させることで、集落の中に明るく落ち着いた住空間を作り出そうとしている。

審査委員講評

水路のある風景になじむ外観にデザイン力を感じます。ドライガーデンも新鮮です。一方、敷地の中心にある中庭を通して光と風が通る建物の配置は、カーテンいらず。曇天の日が多い地域の特性に対する回答です。一見、斬新な建物に見えて快適性は損なわれていません。鳥取県産のスギ材を使っているのも好印象です。